

社会福祉法人 恵康会

令和 7 年度事業計画

令和 7 年 3 月

1. 基本理念

『一人一人の暮らしを思いやりの心で』

2. 運営方針

- 1) 個性を大事に自分らしく暮らしていけるように支えます
- 2) 近隣地域とのつながりを密接に保つとともに、地域に開かれた施設を目指します
- 3) 口腔機能の維持・向上を図り、出来る限り健康に暮らせるようにサポートします

1. 法人基本方針

2020年以降、毎年感染症について、言及せざるを得ない状況が続いています。当施設においては昨年末から年頭にかけて、職員が新型コロナウイルス感染とインフルエンザによるダブルパンチに見舞われ、複数人が出勤停止となったせいで、感染しなかった職員が残業や休日出勤を余儀なくされ、体力的にかなりきつい勤務になってしまいました。日頃からの免疫力向上と仕事場以外での感染対策にもっと気を配らなければならないと考えています。2月には久しぶりの行政による監査を受けましたが、大きな指摘をほとんど受けることなく、乗り切れたのは幸いでしたが、準備には大変な思いをしたので、常日頃から記録その他の業務を、その場で完結させておかねばと反省しています。

令和7年度は以上の2点の改善を目指したいと思っています。また、空室をできるだけなくすことも優先課題として取り組みます。

2. 令和7年度 全事業所共通重点目標

1. 感染症の徹底

感染症の徹底を挙げたいと思います。施設内での感染対策はそれなりに出来ていると自負していますが、職員各々がプライベート時等、施設外での行動で一人一人が自覚して感染対策を行うことが必要だと思います。新型コロナウイルス感染症が感染症分類第2類相当の時は日本国民全体が危機意識を持って対応していたため、季節性のインフルエンザはほとんど発生していませんでしたが、感染症分類第5類になってからは国民全体が危機管理に乏しくなっていると感じます。そのせいで、昨年末から今年にかけて、職員由来の新型コロナウイルス感染症とインフルエンザのダブルパンチに見舞われました。これからは、職員一人一人が感染予防に対する認識を持って行動する事への自覚を促し、施設外でも感染対策をしっかりと行う事、併せて免疫力の向上を目標として掲げたいと思います。

2. ハラスメント対策

ハラスメント（パワハラ・セクハラ・モラハラ等）に対する対策を考えなければならない時期に来ていると感じます。認知症という病気のせいにして、各種ハラスメントへの対応を怠ったままにしておくと、将来的に職員のストレスが増大して職員からご利用者への虐待につながりかねず、そうなる前に対策を立てたいと思います。

法人の概要

- | | |
|----------|--|
| 1. 法人名 | 社会福祉法人 恵康会 |
| 2. 法人所在地 | 福岡県北九州市門司区上藤松3丁目2番1号 |
| 3. 代表者氏名 | 理事長 渡邊 義嗣 |
| 4. 設立年月日 | 平成21年9月11日 |
| 5. 主たる事業 | ・ 特別養護老人ホームひかりの丘 入所定員：29名（ユニット型個室）
・ ショートステイひかりの丘 利用定員：10名（ユニット型個室）
・ グループホームひかりの丘 利用定員：18名（ユニット型個室）
・ グループホームひかりの道 利用定員：18名（ユニット型個室） |

令和7年度 部門別目標

【本部】

取組目標	具体的な行動計画
①職員の採用	・職員採用について、できるだけ派遣職員に頼らず、直接雇用の職員を確保するように努力する。
②感染症について	・感染症についての情報収集に努め、先手を打って職員に伝達し、注意喚起する。
③社会福祉法人としての健全な運営	・各種法令や運営基準等の法令を遵守する。 ・情報の開示を積極的に行う。 ・地域の高齢者や各機関・団体等との係わりを密に行い、連携を深める。 ・3ヶ月毎にひかり通信を発行し、地域への情報発信を行う。
④事業運営	・各事業所の稼働率向上を目標として、空床率の減少と、加算・減算の要件を的確に把握し、効率的な運営ができるよう情報の収集を行う。 ・設備・備品など、経年劣化による修繕・故障が増えており、併せて、大規模な修繕も予定しており、無駄な支出を抑えつつ、事業運営を行う。

【特養生活相談員】

取組目標	具体的な行動計画
①入所待機者の適正な実態把握を行う。	・特養から退所者が生じた場合は、出来るだけ速やかに待機者にご案内をし、空床期間の短縮に努める。前もってのご案内も考慮する。
②相談者等の対応	・施設の見学や利用希望、介護保険制度等についての相談があった場合は、わかりやすく丁寧に説明し、将来の利用に繋げていく。

【特養介護支援専門員】

取組目標	具体的な行動計画
①適切なケアプランの作成	・ケアプランの適切な作成と、機能訓練指導員・医務・介護等との連携を図り、ケアプランとの融合性を高める。
②介護支援専門員の質の徹底を図る	・必要に応じて介護支援専門員の質の向上等に関する研修会に参加する。

令和7年度 部門別目標

【医務】

取組目標	具体的な行動計画
①廃用症候群の回避	・高齢者にとって避ける事の出来ない廃用症候群の状況をご利用者個人個人について把握し、多職種、主に介護職員との連携を深める。
②感染症対策	・感染症とその対策についての、情報収集し、感染予防に努め、感染の場合は感染の拡大防止に努める。
③服薬管理	・ご利用者個人の疾患を理解し、服薬管理を行う。

【機能訓練指導員】

取組目標	具体的な行動計画
①廃用症状の予防・軽減	・高齢者の廃用症状を軽減し、日常生活動作や介護を行いやすい身体条件を整える。また、新たな廃用症状の発生を予防する。
②残存能力の維持	・ご利用者の残存能力を的確に判断し、より多くの能力が引き出せるように身体・環境を整える。そして、ADL能力の維持を図る。
③情報の共有	・リハビリテーションの立場から、介護・看護等の他職種にそれぞれのご利用者の疾患や身体の特徴など、有益な情報を提供する。

【栄養管理】

取組目標	具体的な行動計画
①ご利用者に喜ばれる食事を提供する。	・通常の食事の提供と同様に、行事や食事レクリエーションに対して、積極的に応援・支援をする。
②衛生管理	・衛生管理を徹底し、食中毒の予防に努める。

令和7年度 部門別目標

【特養ユニット 介護】

取組目標	具体的な行動計画
①ご利用者・ご家族への接遇のさらなる向上を目指す。	・接遇研修を行い、コロナからの脱却をする。 (面会が増えてきたため、ご家族への対応も含めて)
②ご利用者が落ち着ける環境を整える。	・ご利用者にとって、安心・安全で快適な居住空間を提供する。

【ショートステイ 介護】

取組目標	具体的な行動計画
①環境の整備	・環境の変化による不安や緊張感を和らげられるような安全で快適な居住空間を提供する。
②情報の共有	・ご家族や担当ケアマネジャーとの連絡を密にし、情報を共有するように努める。

【グループホーム 介護】

取組目標	具体的な行動計画
①環境の整備	・ご利用者にとって、安心・安全で快適な居住空間を提供する。
②認知症を理解する	・認知症を理解し、一人一人に対する適切な対応を考慮する。
③ご利用者・ご家族への接遇のさらなる向上を目指す。	・接遇研修を行い、コロナからの脱却をする。 (面会が増えてきたため、ご家族への対応も含めて)

令和7年度 社会福祉法人恵康会

特別養護老人ホームひかりの丘(ふれあい・まごころ・やすらぎ)事業計画

1. 運営方針

基本理念『一人一人の暮らしを思いやりの心で』

運営方針「個性を大事に自分らしく暮らしていけるように支えます。」「近隣地域とのつながりを密接に保つとともに、地域に開かれた施設を目指します。」「口腔機能の維持・向上を図り、出来る限り健康に暮らせるようにサポートします。」を基にご利用者の尊厳ある生活を支えていきます。

2. 事業運営計画

- ・ご利用者の重度化に伴い、一人一人の状態を把握し専門職や嘱託医と連携を図り、異常の早期発見に努めます。
- ・ご利用者が日々の生活に楽しみが持てるように、外出やレクリエーションを行っていきます。
- ・職員の定着、介護技術や知識の向上を目指すと共に、相談しやすい環境作りを行います。

◇ 課題項目と方策

課題項目	達成のための方策
①ご利用者一人一人の心身状態を把握し、適切なケアを行う。	(1)状態変化に気付けるように、日々の観察を行う。 (2)ご家族、専門職、嘱託医と情報共有し、連携を図る。 (3)ミーティングを活用し、ケアの統一を図る。
②介護技術、知識の向上を図る。	(1)勉強会やミーティングを利用し、介護技術や知識の向上を図る。 (2)質問しやすい環境作りを行う。

3. 令和7年度の目標と取り組み

- ①ご利用者の状態を把握し、異常の早期発見
- ②日々の生活が充実したものになるように、外出やレクリエーションの提供
- ③介護技術、知識のレベルアップ
- ④活気ある職場作り

4. 令和7年度の在籍者目標

(人)

登録者数	R7.4月	R7.5月	R7.6月	R7.7月	R7.8月	R7.9月	R7.10月	R7.11月	R7.12月	R8.1月	R8.2月	R8.3月
ふれあい	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
まごころ	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
やすらぎ	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

5. 令和7年度の月別事業計画

年月	内 容	場 所	備考
令和7年 4月	花見 第1回 運営推進会議	藤松公園・和布刈 元小多機スペース	誕生会
5月	消防避難訓練(日中想定)	ひかりの丘 館内	誕生会
6月	第2回 運営推進会議	元小多機スペース	誕生会
7月	ソーメン流し		誕生会
8月	第3回 運営推進会議	元小多機スペース	誕生会
9月	敬老祝賀会 消防避難訓練(夜間想定)	各ユニット ひかりの丘 館内	誕生会
10月	第4回 運営推進会議	元小多機スペース	誕生会
11月			誕生会
12月	クリスマス会・もちつき 第5回 運営推進会議	各ユニット・元小多機スペース 元小多機スペース	誕生会
令和8年 1月	初詣	戸上神社	誕生会
2月	節分 第6回 運営推進会議	各ユニット 元小多機スペース	誕生会
3月	ひな祭り 消防避難訓練(災害想定)	各ユニット ひかりの丘 館内	誕生会

令和7年度 社会福祉法人恵康会

ショートステイひかりの丘 事業計画

1. 運営方針

基本理念『一人一人の暮らしを思いやりの心で』

運営方針「個性を大事に自分らしく暮らしていけるように支えます。」「近隣地域とのつながりを密接に保つとともに、地域に開かれた施設を目指します。」「口腔機能の維持・向上を図り、出来る限り健康に暮らせるようにサポートします。」を基にご利用者の尊厳ある生活を支えていきます。

2. 事業運営計画

- ・ 介護職員の人材確保について検討します。
- ・ 施設内・外の研修の充実、施設内の各種委員会の開催を行います。
- ・ 新規ご利用者獲得に努めます。

◇ 課題項目と方策

課題項目	達成のための方策
①介護職員の人材確保及び、やりがいのある職場作り	(1) 職員の知り合いや地域住民へ声掛けを行い、人材を確保する。 (2) 研修に参加し、知識を身に付けることや、多職種の業務を理解し将来のビジョンが立てられるようにする。 (3) 研修や委員会等で自分の意見を伝え認められることで自己肯定感を上げていく。
②居宅介護支援事業所との連携	(1) ご利用者やご家族のニーズに合ったサービスの提供。 (2) 報告・連絡・相談を行う。 (3) 緊急時の受け入れも対応できる環境を整える。

3. 令和7年度の目標と取り組み

- ①地域住民との関わりを持ち、人材確保につなげていく。
- ②計画的に研修や委員会を実施し、意見や自身の考えが伝えられる場を作る。
- ③入所稼働率平均70%を確保する。

4. 令和7年度の稼働目標

(%)

	R7.4月	R7.5月	R7.6月	R7.7月	R7.8月	R7.9月	R7.10月	R7.11月	R7.12月	R8.1月	R8.2月	R8.3月
目標稼働率	70	70	70	70	70	70	75	75	75	75	75	75

5. 令和7年度の月別事業計画

年月	内 容	場 所	備 考
令和7年 4月			
5月	消防避難訓練(日中)	ひかりの丘館内	
6月			
7月			
8月			
9月	敬老祝賀会 消防避難訓練(夜間)	各ユニット ひかりの丘館内	
10月			
11月			
12月	クリスマス会/餅つき大会	各ユニット/元小多機スペース	
令和8年 1月			
2月	節分	各ユニット	
3月	消防避難訓練(災害)	ひかりの丘館内	

令和7年度 社会福祉法人恵康会

グループホームひかりの丘 事業計画

1. 運営方針

基本理念『一人一人の暮らしを思いやりの心で』

運営方針「個性を大事に自分らしく暮らしていけるように支えます。」「近隣地域とのつながりを密接に保つとともに、地域に開かれた施設を目指します。」「口腔機能の維持・向上を図り、出来る限り健康に暮らせるようにサポートします。」を基にご利用者の尊厳ある生活を支えていきます。

2. 事業運営計画

- ・ご利用者の高齢化や重度化に伴い、異常の早期発見が出来るように努めます。
- ・職員の不足や急な休みに対応できるよう、両ユニット間で連携を図り、ケアの質が維持できるように努めます。
- ・外食レクリエーションや両ユニット合同レクリエーションなどを取り入れ、楽しく生活して頂ける環境を目指します。

◇ 課題項目と方策

課題項目	達成のための方策
①ご利用者の高齢化、重度化に伴い異常の早期発見ができるスキルを養う。	(1)状態の変化に気付けるきめ細かな観察力を身につける。 (2)状態の変化に合わせた適切な介助方法を学習する。 (3)病気に対する理解力を深める。
②急な職員不足にも対応できる対策を取る。	(1)業務の共有マニュアルを作成する。 (2)両ユニットのご利用者の状態を把握する。 (3)職員間で相談・報告しやすく、風通しの良い関係を築く。

3. 令和7年度の目標と取り組み

- ①ご利用者の状態の変化や異常時などスムーズに職員間で情報の共有が図れるようにする。
- ②ご利用者の笑顔があふれ、楽しく生活できる場になるよう環境を整える。
- ③職員が少ない時でもケアの質が維持できるスキルを身につける。

4. 令和7年度の在籍者目標

(人)

	R7.4月	R7.5月	R7.6月	R7.7月	R7.8月	R7.9月	R7.10月	R7.11月	R7.12月	R8.1月	R8.2月	R8.3月
登録者数	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18

5. 令和7年度の月別事業計画

年月	内 容	場 所	備 考
令和7年	・お花見		
4月	・第1回運営推進会議	・元小規模多機能スペース	・誕生会
5月			・誕生会
6月	・第2回運営推進会議	・元小規模多機能スペース	・誕生会
7月	・そうめん流し		・誕生会
8月	・第3回運営推進会議	・元小規模多機能スペース	・誕生会
9月	・敬老祝賀会		・誕生会
10月	・第4回運営推進会議	・元小規模多機能スペース	・誕生会
11月			・誕生会
12月	・クリスマス会 ・第5回運営推進会議	・元小規模多機能スペース	・誕生会
令和8年	・初詣	・戸上神社	・誕生会
1月			
2月	・節分 ・第6回運営推進会議	・元小規模多機能スペース	・誕生会
3月	・ひな祭り		・誕生会

令和7年度 社会福祉法人恵康会

グループホームひかりの道 事業計画

1. 運営方針

基本理念『一人一人の暮らしを思いやりの心で』

運営方針「個性を大事に自分らしく暮らしていけるように支えます。」「近隣地域とのつながりを密接に保つとともに、地域に開かれた施設を目指します。」「口腔機能の維持・向上を図り、出来る限り健康に暮らせるようにサポートします。」を基にご利用者の尊厳ある生活を支えていきます。

2. 事業運営計画

- ・ 認知症の知識を高め、ご利用者が安心して生活が送れるように支援します。
- ・ 職員同士で情報共有し、ケアの統一を図ります。
- ・ 空室への対策を行い、満床を目標に取り組みます。

◇ 課題項目と方策

課題項目	達成のための方策
① 認知症の理解を深め一人一人に合ったケアの提供	(1) 定期的に認知症の勉強会を開催する。 (2) 日々の状態を把握し、申し送りやユニット会議を通じて職員全員へ共有する。 (3) ご利用者の出来る事、出来ない事を考えケアの提供へ繋げる。
② 満床を目指し新規開拓を行う	(1) 運営推進会議で地域の方々や地域包括センターの情報を共有する。 (2) 病院や他事業所等の関係を深め新規ご利用者の拡大を図る。 (3) 地域の掲示板やFAXを活用し情報を公開する。

3. 令和7年度の目標と取り組み

- ① 施設内研修の充実
- ② ご利用者一人一人の状態把握
- ③ 申し送りノート、ユニット会議議事録の確認、情報共有の徹底
- ④ 空室への新規開拓

4. 令和7年度の在籍者目標

(人)

	R7.4月	R7.5月	R7.6月	R7.7月	R7.8月	R7.9月	R7.10月	R7.11月	R7.12月	R8.1月	R8.2月	R8.3月
登録者数	16	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18

5. 令和7年度の月別事業計画

年月	内 容	場 所	備 考
令和7年 4月	花見	小森江公園	お誕生会 食事レク
5月	母の日 第1回運営推進会議	ひかりの道 ひかりの道ふれあい広場	お誕生会 食事レク
6月	消防避難訓練 紫陽花見学	ひかりの道 奥田川周辺	お誕生会 食事レク
7月	そうめん流し 第2回運営推進会議	ひかりの道 ひかりの道ふれあい広場	お誕生会 食事レク
8月	夜間想定避難訓練	ひかりの道	お誕生会 食事レク
9月	敬老会 第3回運営推進会議	ひかりの道 ひかりの道ふれあい広場	お誕生会 食事レク
10月	運動会	ひかりの道	お誕生会 食事レク
11月	第4回運営推進会議	ひかりの道ふれあい広場	お誕生会 食事レク
12月	クリスマス会 災害避難訓練	ひかりの道 ひかりの道	お誕生会 食事レク
令和8年 1月	初詣 第5回運営推進会議	戸ノ上神社 ひかりの道ふれあい広場	お誕生会 食事レク
2月	節分	ひかりの道	お誕生会 食事レク
3月	ひな祭り 第6回運営推進会議	ひかりの道 ひかりの道ふれあい広場	お誕生会 食事レク